

3M DI-NOCTM Architectural Finishes

D-Board Method

Dボード 工法提案

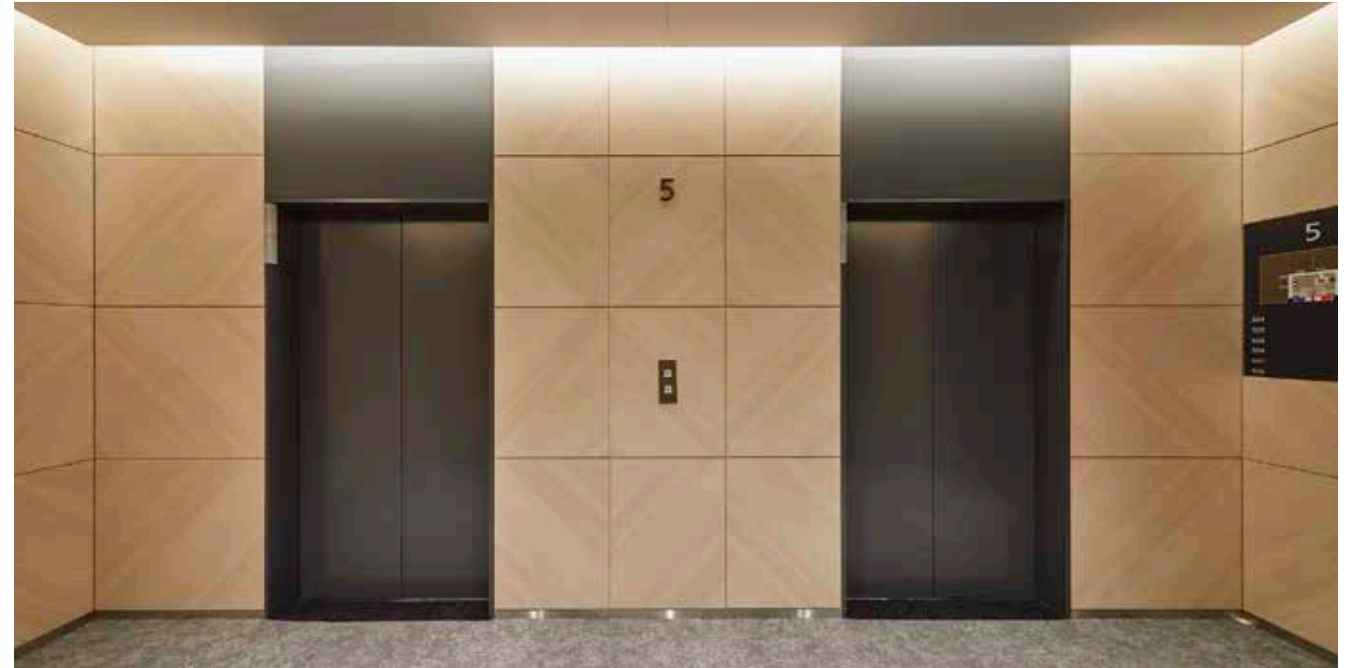




DW-1877MT / 壁面



SOUP CURRY ムラカリータ



FW-336 / エレベーターホール壁面

リンクススクエア新宿



NU-2008 / 壁面



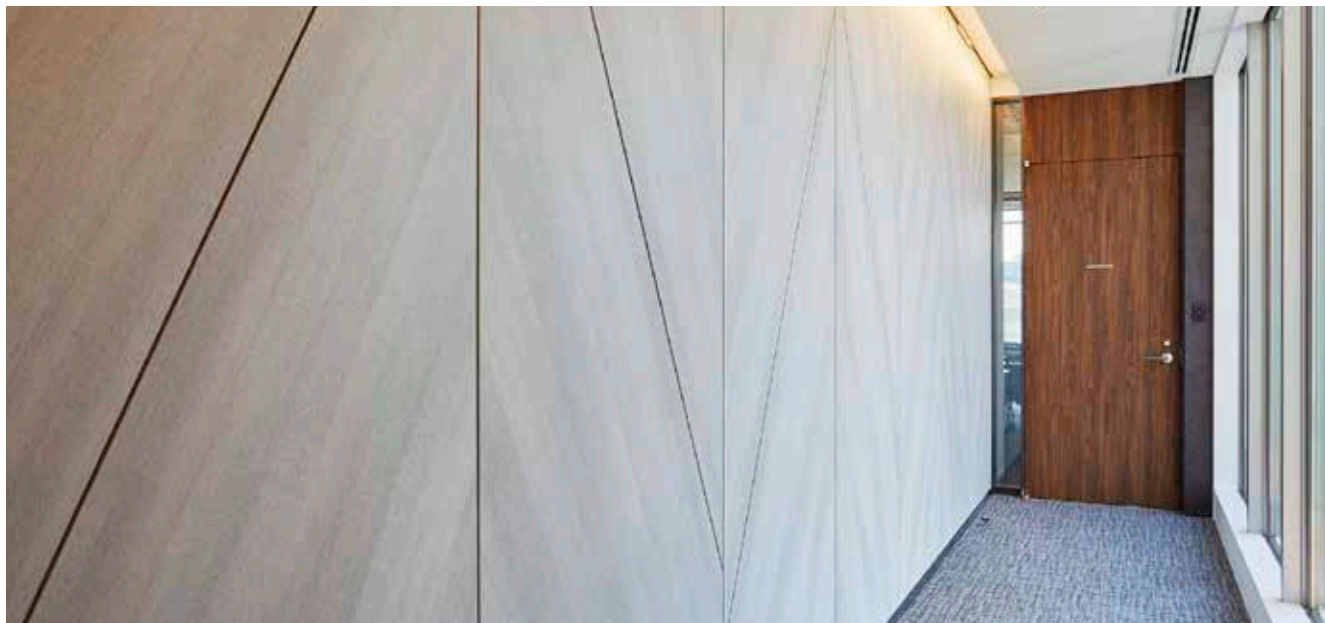
タイガー魔法瓶株式会社本社 新事務所棟



ST-1831 / 壁面



ベストウェスタンプラスホテルフィノ千歳



WG-2076 / 壁面

SG テラス



DW-1883MT / 壁面、什器

東海住宅株式会社 仙台支店

3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes D-Board Method

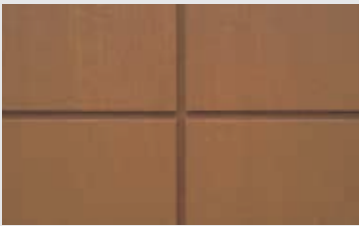
D ボード工法 内装不燃パネル工法

3M™ ダイノック™ フィルムを当社特約店・施工会社の工場で
ケイ酸カルシウム板にラミネート加工してから、壁面に取り付ける工法です。
高品質で工期を短縮できます。

工法の特長

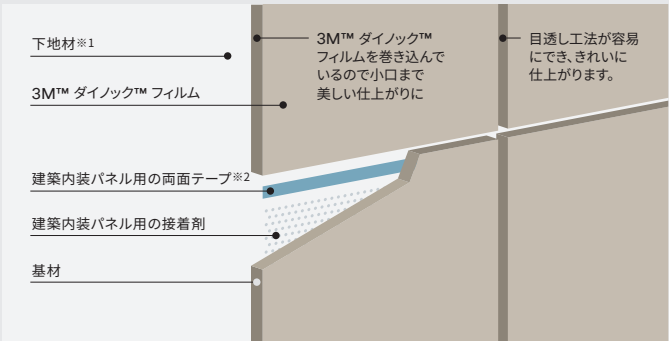
- 工場貼りすることにより、
均一で美しい仕上がりになります。
- 施工したパネルを貼るだけなので、
省廃材で工期を短縮できます。

- ・Dボード工法は標準的な建築内装パネルを取り付ける方法(両面テープと接着剤を使用)で壁面に施工されます。
- ・スリーエム ジャパンは工法提案と施工会社の紹介をしています。
詳細につきましては、当社販売担当者までお問い合わせください。



フィルムを直貼りするよりも、十字目地をシャープなエッジで再現できます。

断面図



※1 使用可能な下地材の例
石こうボード (推奨12.5mm以上)

※2 使用可能なテープの例
3M™ ポリエチレンフォームテープ MIX-313

推奨基材

ケイ酸カルシウム板 (比重 0.8 以上)

対応サイズ (※3)

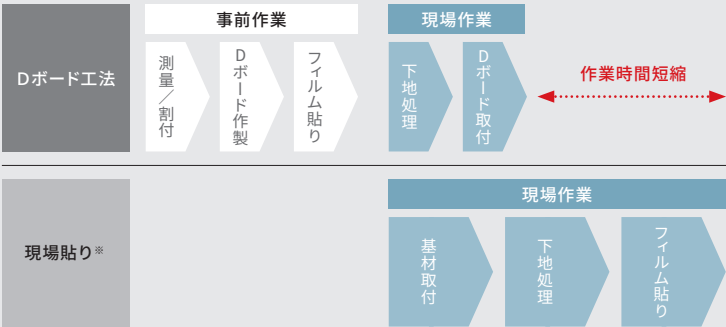
最大幅 1,150mm まで
最長 2,700mm まで
厚み 6mm

※3 標準的なサイズです。詳細は施工会社にご確認ください。

現場貼りとの比較

作業フロー

D ボード工法は現地貼りに比べて、現場での作業時間が大幅に短縮されます。

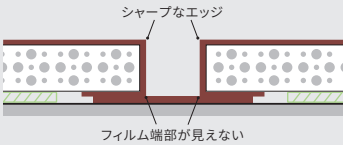


※現場で下地に基材(ケイ酸カルシウム板)を貼り、その上にフィルム貼りをする前提です。

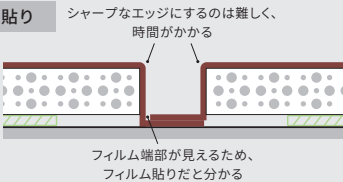
仕上がり(目地部分)

D ボード工法

3M™ ダイノック™ フィルム
基材(推奨:ケイ酸カルシウム板)
下地材 両面テープ



現場貼り



施工の流れ

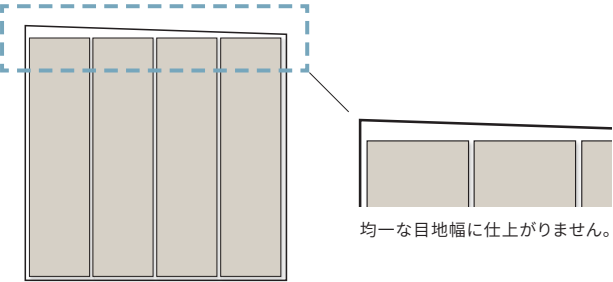
1 現地で測量

建築物の壁面は形状が真四角でないことがあります。
目地の幅を均一に仕上げるために
現地で垂直水平の基準線をもとに正確な壁面寸法を測量します。



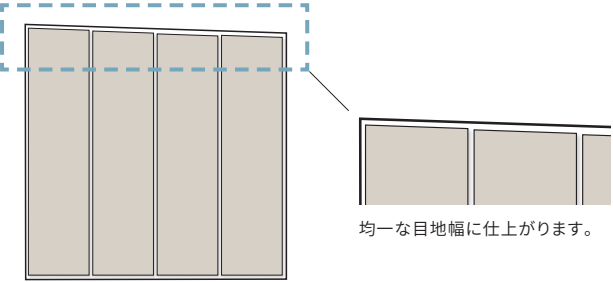
現地で正確に測量します。

■ 正確な測量をしなかった場合



均一な目地幅に仕上がりません。

■ 正確な測量をした場合



均一な目地幅に仕上がります。

2 Dボードの割付けを決定

Dボードの割付けについてお客様と打ち合わせをし、決定します。

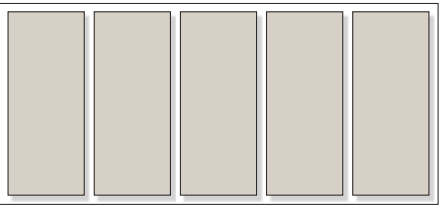
【割付けの検討例】

均等割付け

経済的な割付け

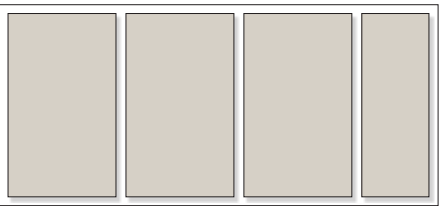
均等割付け

Dボードの幅が均等に見えるような割付け



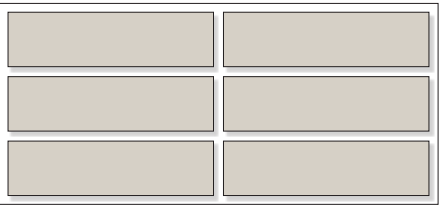
経済的な割付け

フィルムの幅方向を最大に有効活用した割付け



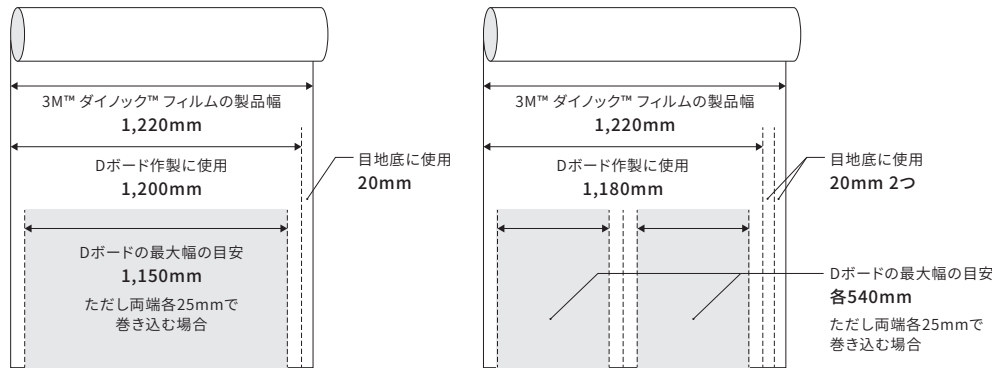
縦割／横割

Dボードの長さ方向を横に配置する割付けもあります。



Dボードの割付けを検討する時の参考情報

【経済的なフィルム取りの例】 下記は一例です。施工会社により異なる場合があります。施工会社にご相談ください。

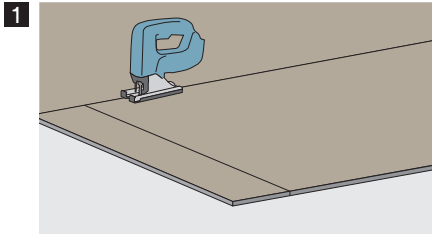


ケイ酸カルシウム板の代表的な寸法

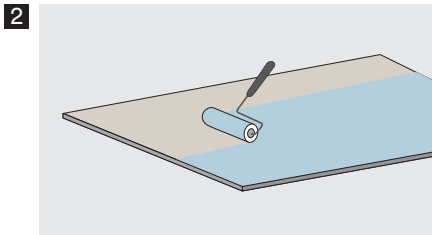
- 910mm × 1,820mm
- 910mm × 2,420mm
- 910mm × 2,730mm
- 1,210mm × 2,420mm

3 工場でDボードを作製

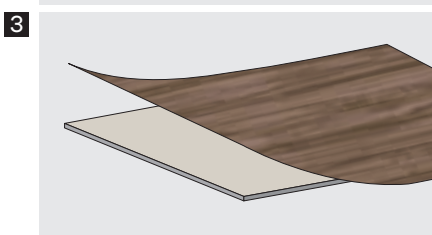
決定した割付けの仕様でDボードを作製します。
ケイ酸カルシウム板をカットしたのち、プライマーを塗布して、
フィルムを貼付し四周に巻き込みます。



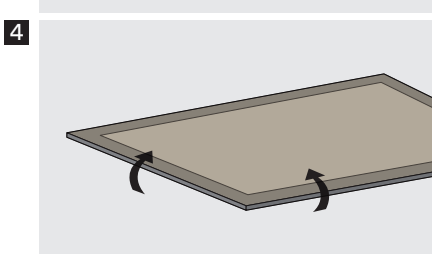
ケイ酸カルシウム板を
カットします。



プライマーを塗布します。



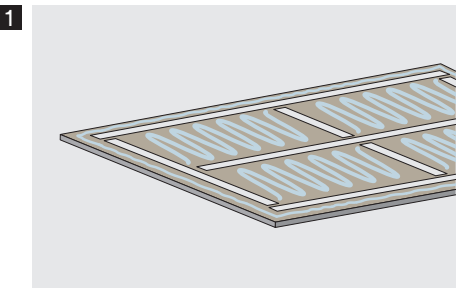
フィルムを貼付します。



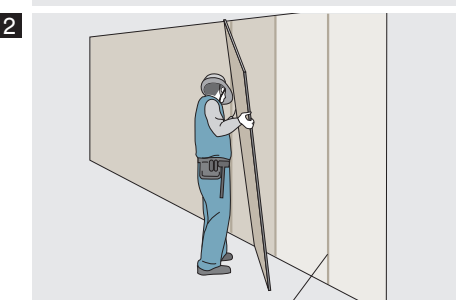
フィルムを四周に
巻き込みます。

4 現地でDボードを施工

現地の壁面へ、決定した割付けの仕様でDボードを施工します。
目地底には同じ色柄のフィルムを施工します。
ボードは標準的な建築内装パネルを取付ける方法
（約1mm厚の両面テープと弾性接着剤を使用）で施工されます。
Dボードの施工については施工会社と打ち合わせをし、決定します。



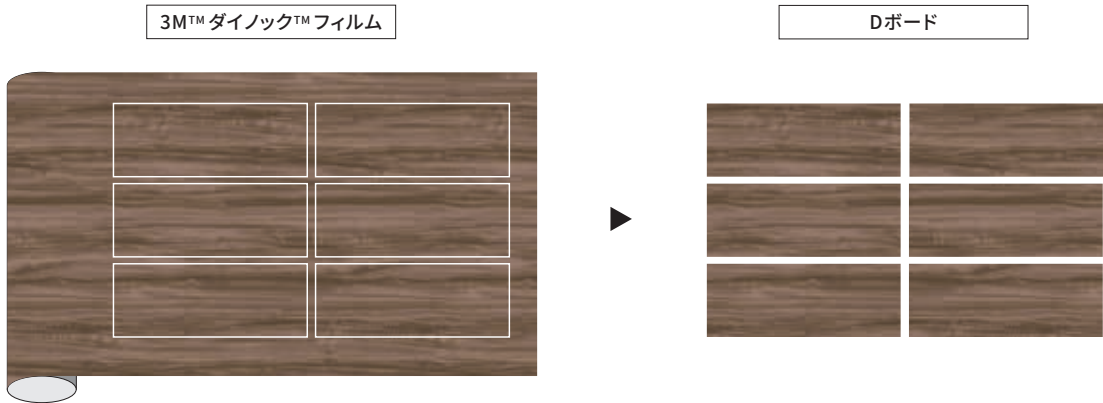
両面テープと接着剤を
塗布します。



Dボードを
取り付けます。

先行して目地底にDボードと
同じ色柄のフィルムを貼ります。

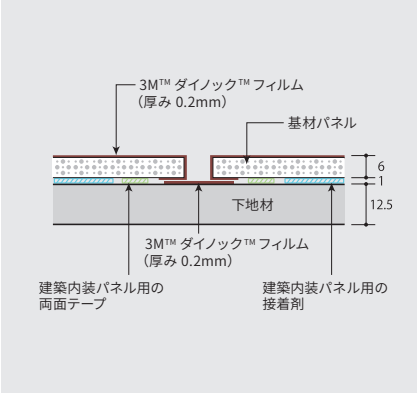
隣合うDボードで柄を通した割付け方法もあります。



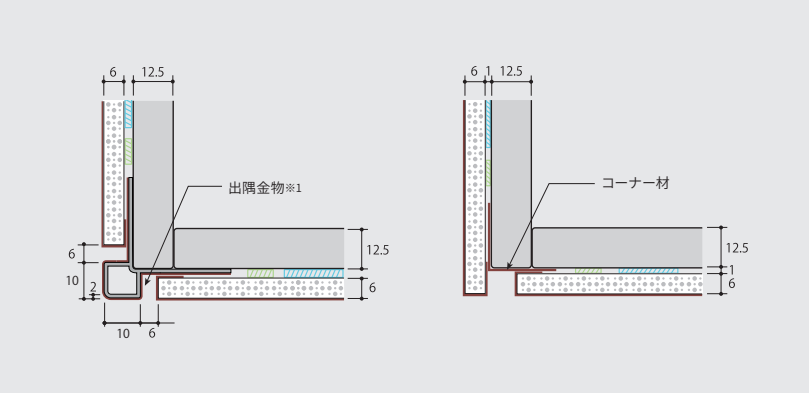
一般的な納まり図

数値は一般的な例です。

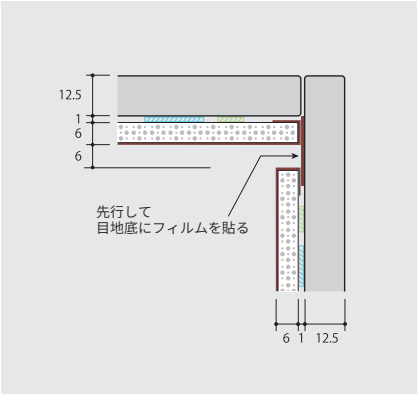
壁



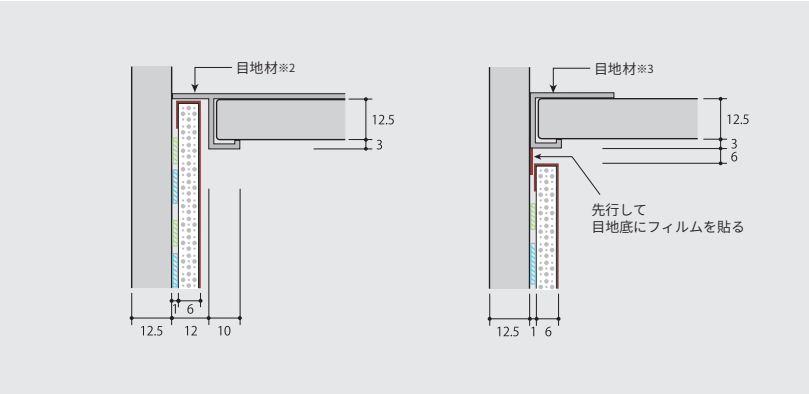
壁（出隅）



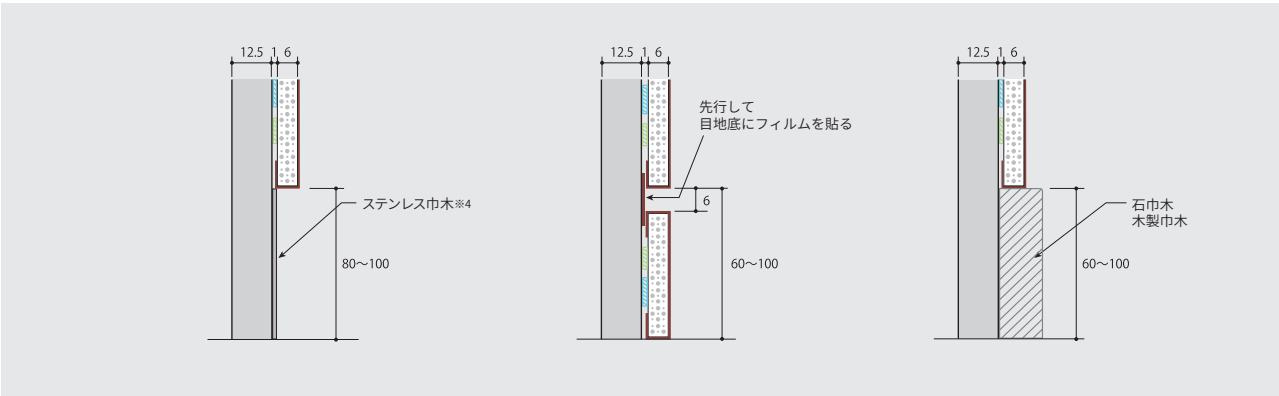
壁（入隅）



天井



床（巾木）



ジョイナー、見切り材の例

使用するジョイナー、見切り材は施工会社により異なる場合があります。施工会社にご相談ください。

※1 (株)創建 アルミ出隅ジョイナー No.53004 アルミDTM-6、No.53523 アルミDT3R-6

※2 (株)創建 アルミコ型見切縁 No.52008 アルミCC-712

※3 (株)創建 アルミ目透かし型見切縁 No.53028 アルミSS-13

※4 (株)創建 ステンレス巾木 No.41083 ステンレス板巾木100

3M™ ダイノック™ フィルムの詳細説明は
WEBサイト、もしくは見本帳をご確認ください。

WEBサイトはこちら

go.3M.com/dinoc/



見本帳の一覧はこちら

go.3M.com/dinoc/request/catalog/



3M™ ダイノック™ フィルムの
無料サンプルをご用意しています。

ご請求はこちら

ダイノック サンプル



go.3M.com/dinoc/request/sample/

16時までのご依頼分は、当日出荷します。



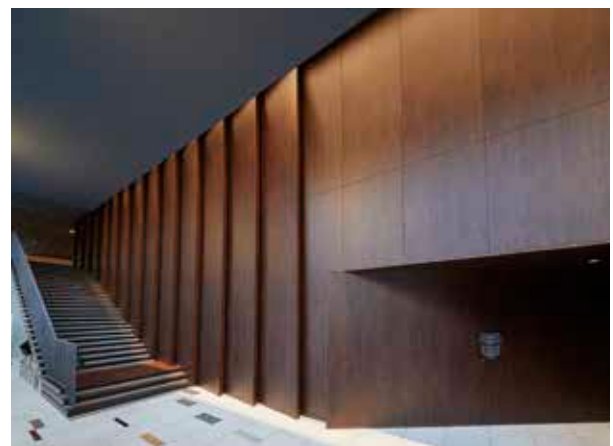
WEBサイトでもDボード工法の
施工事例を公開しています。

施工事例はこちら

ダイノック 施工事例



go.3M.com/dinoc/case



■防火材料／ホルムアルデヒド発散建築材料 国土交通大臣認定番号

3M™ ダイノック™ フィルムは、建設省告示1400号に例示されたケイ酸カルシウム板(厚さ5mm以上)に貼付した場合、不燃材料としての大臣認定を取得しています。

また、ホルムアルデヒド発散建築材料 F ☆☆☆☆ の大臣認定を取得しています。

下地基材は下地基材メーカーに性能をご確認ください。

当社WEBページの「法規情報」の「不燃材料(金属板を除く)」をご確認ください。

URL:go.3M.com/dinoc/legal-information



- ご採用決定の際には、あらかじめ在庫状況をお問い合わせください。
 - 当社製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
 - 本書に記載する事項、技術資料並びに推奨は、すべて当社が信頼する情報及び試験に基づいていますが、その正確性もしくは完全性についての絶対的な保証をするものではありません。
 - 使用者は使用に先立って、自己の使用目的及び用途に当社製品が適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任をすべて負うものとします。
 - 当社及び当社製品の製造者の義務は、当社が別途定める条件に基づき、不良であることが証明された製品の交換、もしくは当該製品のご購入代金の返金だけであり、いかなる場合であってもそれ以外の責任は負いません。
 - 上記内容と異なる保証並びに本書に記載されていない事項及び推奨は、当社及び当社製品の製造者の権限を有する役員が署名した文書によらない限り、当社は何らの責任も負いません。
- 3M、DI-NOC、ダイノックは、3M社の商標です。



3M Japan Limited
スリーエム ジャパン株式会社
go.3M.com/dinoc/

© 3M 2023. All Rights Reserved.
DIN-200-B

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-012-123**

9:00～17:00 / 月～金 (土日祝年末年始は除く)